

# 学校長及び学校事務職員と教育委員との意見交換会（令和5年11月17日） 概要

## 1 教育長あいさつ要旨

- ・このような機会は初めてかと思う。保護者負担の軽減、そして、子どもたちが生き生きと学校生活を送れるようにするためにはどうあるべきかといった視点で議論を進めたい。今日は現場の方々の声を聴く貴重な機会なので、率直な現状をお聞かせいただきたい。
- ・制服について全国的に価格設定が高めになる傾向があると、公正取引委員会から調査結果が出ている。文部科学省からも、できるだけ制服や学用品等の保護者負担を軽減するよう通知が出ているが、学校の実態としてなかなか進んでいないというのが問題意識のスタート
- ・制服や学用品の実態を調べ、学校・子ども・保護者からいろいろな意見を聞きながら、教育委員会として提言のような形でまとめ、市長とも意見交換し、各学校に参考にしていただく意見としてお送りしたい。

## 2 主な意見内容

### (1) 新入学用品について

- ・鍵盤ハーモニカは、兄弟が両方小学校にいる場合は、音楽会の際に使用が重なるので、できれば両方買ってもらっている。
- ・算数セットは必要なものだけを買ってもらっている。
- ・朝顔セット、工作、のり、はさみは、入学時ではなく、1～2か月経ってから買ってもらっている。
- ・通学用カバンは、昔は安かったが現在は値上がりしている。生徒は通学カバンの倍くらいの大きさのバッグを二重背負いしているので、通学カバンをやめて一つのカバンにすることを検討している。保護者負担を減らすのはなかなか難しいが、まだ少し改善の余地はある。
- ・小学校でも、絵具セットや彫刻刀等、入学時以外に買うものはある。例えばクーピーペンシルなどは、幼稚園や保育園からおそらく皆持っている。必要なものだけ買うのでもよいなら、合理的・経済的で助かるのではないか。  
⇒その場合、各自買ってくださいとするのが良いのか、学校で学年費からまとめて買うのが良いのか（不要な人には学年費を返金する必要がある）、どのような方法が良いか悩む。
- ・上履きを統一する理由は何か。  
⇒体育にも使うので、ある程度耐久性があって値段も高くないものを望

む。上履きを自由に行っている学校もあるが、運動に適さない靴（底が薄すぎる、厚すぎる等）を履いている子どももいるので、けがを考えると、今の状態は悪くないと思う。

- ・体育館は黒いソールがNG。耐久性を考えたときに、保護者がお店で適切な靴を選ぶことは逆に難しい面もある。値段は妥当なところだと思う。
- ・体育館シューズとして専用で作られており、運動能力や体格に適したものを作っていると思う。底の厚さなどを指定してしまうと保護者も大変。双方にとって選びやすい。3,740円だが、有名メーカーのものだともっと高くなってしまう。
- ・モデルチェンジや製造中止もあるので、昨年新しいモデルに変えたが、試し履きしたり、デザインを見たりして、みんなで考えて決めている。
- ・談合などの不透明な取引は妥当でないが、皆の意見を聞きながら、いくつかの業者からの見積もりを取った上で指定するのであれば妥当だと思う。価格ではない保護者負担軽減にはなっている。
- ・業者選定について、市から学校現場にアドバイスが欲しい。
- ・小学1年生はほかの学年より学年費を多く集めているので負担は大きい。ただ、1年生の先生方が必要だと考えるものを購入している。
- ・一般企業なら経理がいるが、学校では学年ごとに学年費の管理を担当する先生がおり、本来の業務以外にそれを担っている。
- ・「学校で買わないので各自買ってきてください」と言うと、買ってこない家庭も出てくるだろう。かと言って学年費で買うと、不要な家庭への返金を管理しなければならない（1学年100人以上の場合もある）。
- ・算数セットは、共働きの家庭が増える中で、名前シールを貼る作業が大変だった。個人持ちである必要はあるか。  
⇒以前は「そろばん」は個人持ちだったが、学校で買うようになった。そういう観点での見直しは必要

## (2) 制服について

- ・入学時にまとまったお金で制服を買うのは負担が大きいと思う。松本市では、小学校は私服、多くの高校も私服、なぜ中学校だけ制服なのかと聞いたことがある。そろえることのなぜ、統一することのなぜを考えるべきではないか。
- ・制服は必要なのか。先生方の率直な思い、理由を聞かせてほしい。  
⇒・意外と子どもたちや保護者は決まった服を着たいという意見が多かった。選べるようにジェンダーフリーにした。学校の要望を伝え、モデルを作った上で、コンペで決めた。価格は旧制服と同じくらいに抑

えてもらっている。女子の制服の費用負担は大きかったが、夏服を廃止して負担を軽減できた。

制服の良さとしては、学校への所属感、誇り、希望をもって入学してきてくれるということはある。

- ・高校に制服がない長野県が特異。逆に小学生でも制服がある地域もある。東京の私立学校は制服。その辺りに答えがあるのかなと思う。高校の制服を有名なデザイナーのデザインに変えたら志願者が増えたという話もある。
- ・制服の効用は、所属がわかるので地域の大人が守ってくれること
- ・標準服（類似していれば市販品も選択可）は、リボン、ネクタイ、ズボン、スカート、みんな違う。文化祭のステージも皆バラバラの服装で登壇したが、「(バラバラでも) いいじゃないですか」と、先生方の意識が随分変わってきた。以前は生徒指導主事がやたらと「こうしなさい」と言っていたが、冬でも半袖を着たい子もいる。それぞれなので、うまくやっていきたい。
- ・子どもから「どうして制服が必要なの？」と聞かれたら、大人は答える責任がある。答えられないならやめたほうが良い。制服のない中学校は、もっと皆いろいろなものを着ているのかと思ったが、案外似たようなものを着ている。高い制服でも良いし、量販店で買っても良いが、多分皆と違うものを買うのは勇気がいると思う。ルールをもっと柔軟に考えさせても良いが、その議論を子どもたちに持ち掛ける時間がなかったのも現実。子どもたちにはいろいろな意見があるし、変えていく力もあるので、考えさせていくことは大切だと思った。
- ・選択できる形がよい。学校内で使用するものは、学校の実態に合わせて、保護者・生徒の意見を聞いて、学校に見合った形に決めればよい。生徒の意見は「なるほど」と思うことがたくさんあったので、スルーせず、保護者と学校でじっくり考えていければ良い。
- ・制服を統一規格で購入している中学校が16校あるので、残る4校は標準服ということか。  
⇒ そのとおり
- ・子どもたちはとても真面目。以前勤めていた学校で、トイレで鼻血を出している子がいたので話を聞くと、「ベストを着ていて暑い。でもみんなが着ているから脱がない」と言っていた。その後、生徒指導の先生から、夏はベストを脱ぐよう話してもらったが、生徒は制服があるとちゃんと着なければならぬという意識がものすごく高いと思った。自由なほうが良いという意見と折り合いがついて、気持ちの良い状態で学校に

通えるようになれば良い。

- ・暑い中、体操着の上に制服を重ね着するのはおかしいと思っていたが、コロナ禍を経て、重ね着しなくて良い方向に変わった。ブランドで競い合うような突出しあう流れも今はなく、子どもたちもそれなりに周りとそろえてくる。制服という枠組みを外しても華美に走ることもないだろう。制服はお直しすれば着られるが、指定店に出して取りに行く手間はある。それならば、比較的安価でネットや量販店で安く買い直せたほうが良い場合もある。同じであることが楽な生徒もいるし、同じであることが苦しい生徒もいる。制服は象徴的なもの。保護者も安価な価格帯から選べると良いと考えると、保護者としては標準服だとありがたいと思う。

(3) その他、保護者負担軽減の観点から

- ・今、消耗品や行事のバス代等が値上がりしていて、ただでさえ保護者負担は増える傾向にある。負担を減らすためには、公費負担できるものが他にないか、予算も限られていると思うが、子育て支援として検討してほしい。  
⇒学校事務職員として公費負担が妥当だと考えるものがあれば、研究・提言してほしい。予算要求に活用する。
- ・バス代が高騰しており、これからスキー教室があるため、保護者負担がどう増えるか怖い。感染症が流行すると欠席者には返金しなければならぬため、一人あたりの負担額も高くなる。あまりにも欠席者が増えた場合は行かない決断をしようと話している。
- ・生徒数の少ない学校は、バス代の一人当たりの負担金額が増えてしまう。
- ・いろいろな見直しや研究の余地はあると思う。各学校で、公費で買っているものを調査し、公費負担で学校に備え付けることが妥当と考えるものについては、根拠となるデータをまとめて提案したい。

(4) 更衣室について

- ・学校で着替える場面を作らないことも大事。小学校であれば、体育のある日は運動着で登校して一日活動するなど、工夫していきたい。
- ・学校施設は昔から大きく変わっていない。ロッカーも小さいし、上着をかける場所も少ない。学校の施設や環境を整備するにはどうしても予算が必要になる。学校に配当される予算は限られているため、施設の充実のためには予算措置をしてほしい。

- ・すべての学校の教室にカーテンを付けても、学校ごとの運用になるので、先生方や子どもたちの理解が必要
- ・以前は、体育の授業の前後に着替えて、美術の前後に着替えて…というのを当たり前の文化としている面があったが、いつ着替えるのか着替えないのかに幅を持たせると、中学生なら自由にいろいろ考えて準備すると思う。
- ・社会における性や子どもの人権の捉え方も変わる中で、学校における着替えも考え直す転機に来ている。